

●長崎県公立大学法人 令和5年度 第18回理事会 議事録

日 時	令和6年3月26日（火）
場 所	シーボルト校 特別会議室
出席者	稲永理事長、浅田副理事長（学長）、井上専務理事(事務局長)、森理事、秋山監事、池田監事
配付資料	<p>【資料1-1】 長崎県公立大学法人令和6年度予算（案）</p> <p>【資料1-2】 長崎県公立大学法人 令和6年度予算（案）の概要</p> <p>【資料2】 非常勤職員の賃金改定について（案）</p> <p>【資料3】 一般選抜（後期日程）における不適切な出題とその対応について</p> <p>【資料4-1】 長崎県公立大学法人の人事について</p> <p>【資料4-2】 長崎県公立大学法人参与の任命について</p> <p>【資料5】 令和6年度入学者選抜にかかる入学手続き状況</p> <p>【資料6】 令和5年度卒業生進路状況</p> <p>【資料7】 県立大学関連の新聞記事</p>
議 事	<p>【審議事項1】 令和6年度予算（案）について</p> <p>○資料1-1～1-2に基づき、事務局から説明があり、案のとおり、承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月8日開催の経営協議会において説明した内容と同じ内容である。なお、3月15日の県議会において、運営費交付金の予算が確定。 <p>【審議事項2】 非常勤職員の賃金改定について</p> <p>○資料2に基づき、事務局から説明があり、案のとおり、承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県並びに他大学法人の同一又は類似の職種の非常勤職員にかかる賃金改定の動向に鑑み、別紙一覧のとおり見直しを行う。 ・改定にかかる所要額は15,783千円、実施時期は令和6年4月1日。 <p>【報告事項1】 一般選抜（後期日程）における不適切な出題とその対応について</p> <p>○資料3に基づき、事務局から説明があった。</p> <p>（意見・質問等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック体制の一層の充実とは具体的に何を考えているのか。 ⇒化学については、2年連続の出題ミスとなり、事態を深刻に受け止めている。 現場で現役で教えている方に関与してもらうなどの検討が必要である。 <p>【報告事項2】 長崎県公立大学法人の人事について</p> <p>○資料4-1に基づき、事務局から説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職者の定年退職に伴い、経営学部長に谷澤毅、地域創生研究科地域創生専攻長兼地域創生研究科地域社会マestr専攻長に山本裕が就任した。

- ・異動数は、退職者 18 名、異動者 20 名、新規採用者 10 名 計 48 名である。

○資料 4-2 に基づき、事務局から説明があった。

- ・今年度末で退職する加藤雅彦教授を情報セキュリティ及び CSIRT に関する助言等のため、令和 6 年 4 月 1 日付けで参与に任命する。
- ・情報セキュリティ産学共同研究センターへの企業誘致など、県と一緒に頑張ってご尽力いただいた方である。

【報告事項 3】令和 6 年度入学者選抜にかかる入学手続き状況について

○資料 5 に基づき、事務局から説明があった。

学部の定員 730 名に対し、令和 6 年 3 月 25 日 17 時現在で 743 名、また、大学院の 40 名に対し、39 名の入学手続きが行われている。

(意見・質問等)

- ・学部生が大学院へ進学する雰囲気乏しい。
- ・大学院で面白い事をやりたいという雰囲気を先生方に作って欲しい。

【報告事項 4】令和 5 年度卒業生進路状況等について

○資料 6 に基づき、事務局から説明があった。

就職希望者数 652 名のうち 592 名の就職が内定し、就職率は 98.0% で前年度比マイナス 0.5 ポイントとなった。

なお、県内就職率は 36.4% で前年度比 +3.6% となった。

(意見・質問等)

- ・就職意思なしとはどのようなケースなのか。
⇒自分探しで今後の進路に悩んでいる、精神的に就職が難しい状況の方などであるが、詳細には確認できていないので、今後は確認する。
- ・県内就職率ばかり目標にするのではなく、県内定着率（県内就職者数 / 県内出身者数）も着目すべきものさしだと考えるので、表に追加して欲しい。